

平成28年度 第4回委員会 事業評価実施事業一覧表

【事前評価】

番号	事業課	事業名 (細事業名)	地区名	事業箇所	事業概要					備考
					事業目標	事業費 (億円)	採択予定 年度	完成予定 年度	事業内容	
1	道路建設課	道路事業 (道路改良事業)	つき 一般国道473号 月バイパス	北設楽郡	①風水害・土砂災害対策の強化 ②山間や離島などの暮らしを支える基盤整備 ③人の交流を支え地域を活性化する基盤整備	96	H28	H38	バイパス整備 (2/2車線) 延長L=3.4km 幅員W=10.0m 3種3級 (40km/h)	
2	道路建設課	道路事業 (道路改良事業)	主要地方道 ひがしみかわかんじょう 東三河環状線	豊橋市 豊川市	①人の交流を支え地域を活性化する基盤整備 ②国際競争力を強化する基盤整備 ③地震・津波対策の強化	72	H28	H37	バイパス整備 (2/4車線) 延長L=2.4km 幅員W=30.0m 3種2級 (60km/h)	
3	道路建設課	道路事業 (道路改良事業)	主要地方道 なごやおかざき 名古屋岡崎線	豊明市 刈谷市	①人の交流を支え地域を活性化する基盤整備 ②国際競争力を強化する基盤整備 ③地震・津波対策の強化	42	H29	H37	バイパス整備 (2/4車線) 延長L=1.1km 幅員W=30m 3種2級 (60km/h)	

【再評価】

番号	事業課	事業名 (細事業名)	地区名	事業箇所	事業目標	事業内容	採択 年度	再評価 該当基準	長期化等 の理由	各評価項目の判定結果			対応 方針案	参考事項：H28年度と前回再評価時との比較 (上段：今回、中断：前回再評価時、下段：事前評価時)					備考
										事業の 必要性	事業の 見込み	事業の 効果		年度	事業期間	事業費 (億円)	進捗率 (%)	B/C	
1	道路建設課	道路事業 (道路改良事業)	主要地方道 せとおおぶとうかい 瀬戸大府東海線	長久手市	①人の交流を支え地域を活性化する 基盤整備 ②国際競争力を強化する基盤整備 ③地震・津波対策の強化	バイパス整備 (2/4～4/4車線) L=1.2km W=22～25m 3種2級 (60km/h)	H14	再評価	事業計画 に基づく	A	A	A	継続	H28	H14～H36	38.6	46.0	2.5	
														—	H14～H36	38.6		—	
2	道路建設課	道路事業 (道路改良事業)	主要地方道 かすがいかみかはら 春日井各務原線	春日井市	①人の交流を支え地域を活性化する 基盤整備 ②交通安全対策の強化	バイパス整備 (2/2車線) L=0.8km W=16m 3種2級 (60km/h)	H20	再評価	事業計画 に基づく	B	A	A	継続	H28	H20～H36	15.0	11.0	4.5	
														—	H20～H36	15.0		—	
3	道路建設課	道路事業 (道路改良事業)	主要地方道 なごやおかざき 名古屋岡崎線	日進市	①人の交流を支え地域を活性化する 基盤整備 ②交通安全対策の強化 ③地震・津波対策の強化	バイパス整備 (2/2車線) L=0.8km W=16m 3種2級 (60km/h)	H16	再評価	事業計画 に基づく	A	A	A	継続	H28	H16～H33	35.1	56.0	3.8	
														—	H16～H33	35.1		—	
4	道路建設課	道路事業 (道路改良事業)	一般国道420号 あすけ 足助バイパス	豊田市	①人の交流を支え地域を活性化する 基盤整備 ②山間や離島などの暮らしを支える 基盤整備	バイパス整備 (2/2車線) L=3.1km内、W=10m 3種3級 (50km/h)	H19	再評価	地元調整 による 計画の見 直し	B	B	A	継続	H28	H19～H42	70.0	4.6	—	
														H23	H19～H34	70.0	3.1	1.5	
														H18	H19～H26	70.0		3.9	
5	公園緑地課	都市公園事業 (公園緑地整備 事業)	あぶらがふちみずべ 油ヶ淵水辺公園	安城市 碧南市	①自然とのふれあいの場、憩いの場 及び交流の場の創出 ②環境学習拠点の創出 ③県民と行政のパートナーシップ活動 (県民協働)の場の創出	広域公園の整備 A=35.5ha	H18	その他	事業計画 に基づく	B	B	A	継続	H28	H18～H38	137	43.8	9.6	
														H23	H18～H47	334	10.9	4.9	
														H18	H18～H47	333	—	1.6	

【事業の必要性】  
 A：事業着手時に比べ必要性が増大している。  
 B：事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。  
 C：事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。

【事業の見込み】  
 A：事業は順調であり、計画通り確実な完成が見込まれる。  
 B：多少の阻害要因があるが、一定の期間等を要すれば、  
 解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。  
 C：阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の  
 目処がたたない。

【事業の効果】  
 A：事業着手時とほぼ同様の事業効果が発現される見通しがある。  
 B：事業着手時と比べ低下が見られるが、十分な事業効果が  
 確保される見通しがある。  
 C：事業着手時と比べ著しく低下し、現時点では事業効果が  
 確保される見通しが立たない。